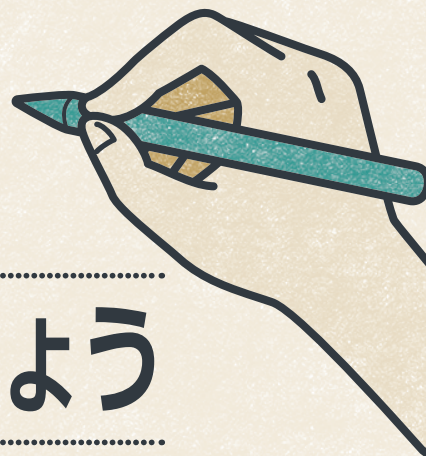


3

おうちの “これから”を共有しましょう

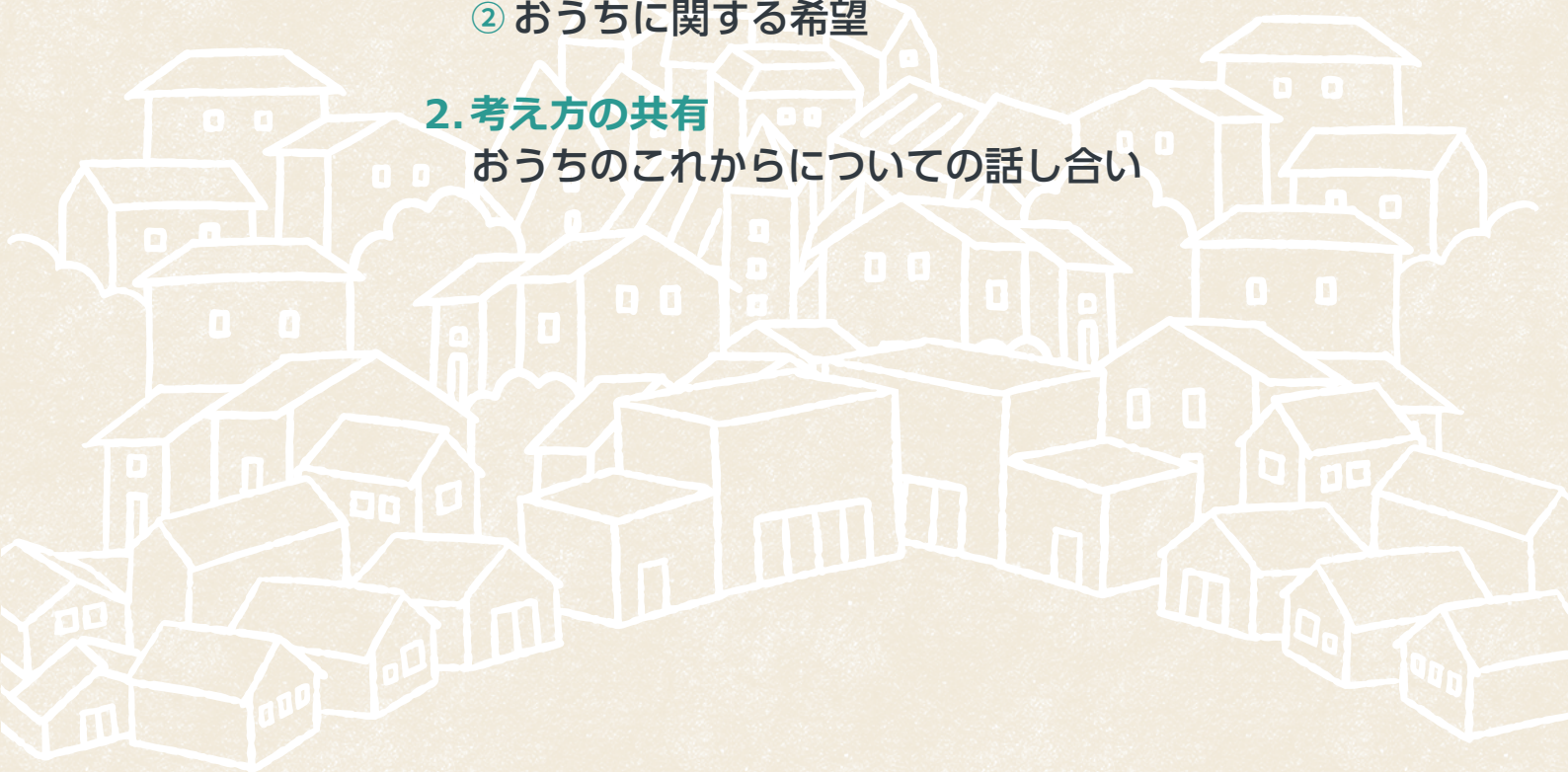


1. おうちの考え方

- ① おうちに関係する人
- ② おうちに関する希望

2. 考え方の共有

おうちのこれからについての話し合い



1. おうちの考え方

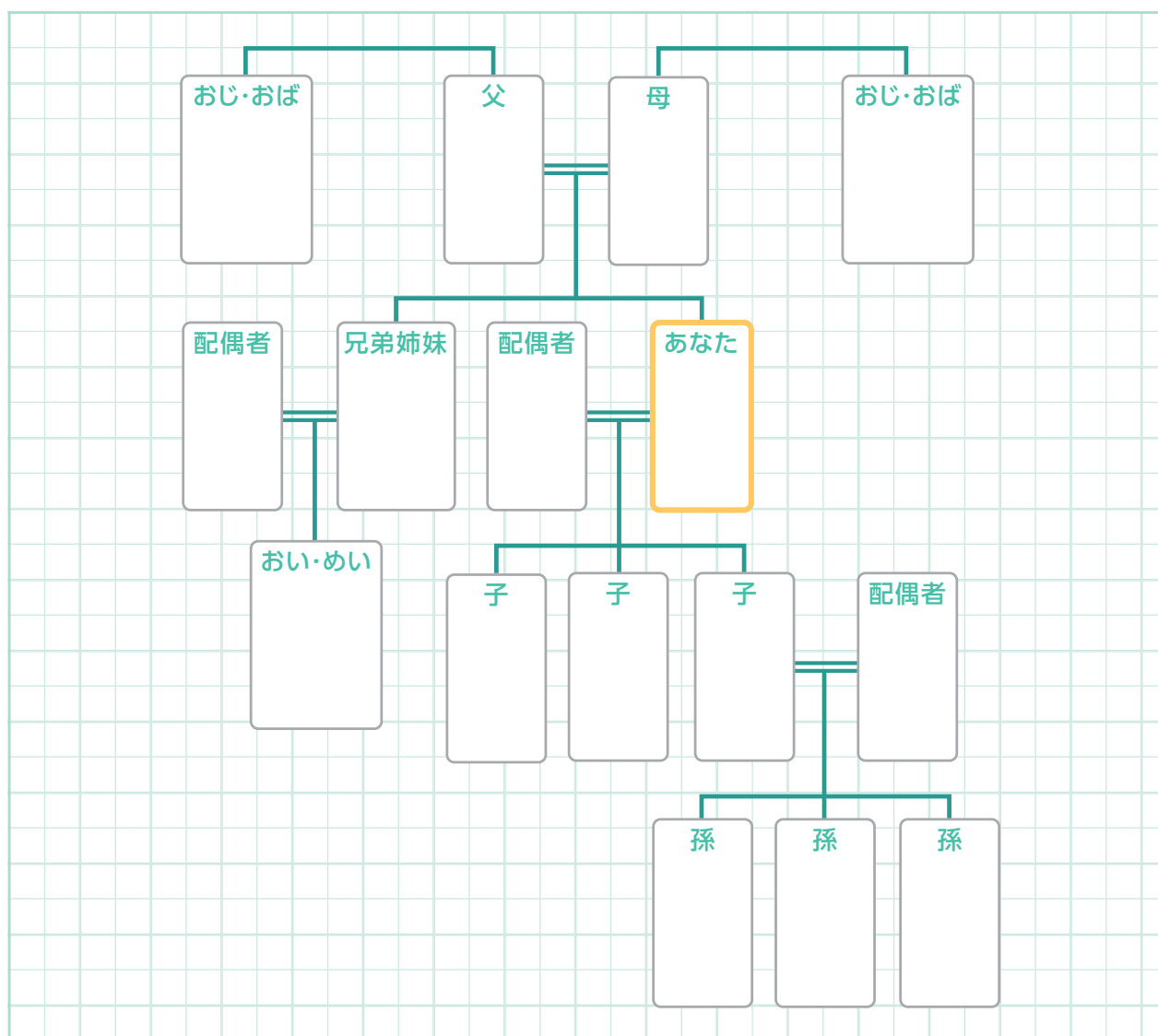
無接道敷地を解消するためには、ご家族などの協力も必要です。また、あなたの「もしも」のときには、ご家族などにおうちを引継ぐことになります。あなたが思い描く「おうちのこれから」を実現するため、おうちのこれからをご家族などと共有しておきましょう。

まずは、おうちを、どなたに、どのような形で引継いでもらいたいのか、考えを整理してみましょう。

1

おうちに関係する人

どなたにおうちを引継いでもらいたいのか考える前に、まずはおうちに「関係する人」をわかる範囲で確認してみましょう。



※「記入枠」が足りない場合は、書き足してください。

おうちを引継ぐ人を法定相続人以外のご家族などにする選択肢もあります。おうちを引継ぐ形も、おうちに住んでもらう、売却してお金として引継ぐなど様々な形があります。おうちの土地・建物をどのように引継ぎたいのか、ご自身の希望を記入してみましょう。▶私のおうちBOOK P30参照

おうちを誰に引継いでほしいですか

- ☒ 特定の家族などに引継いでほしい

例：現在同居している次男に引継いでほしい

- ☒ 誰が引継ぐかは、家族などで話し合って決めてほしい

例：長男を中心に話し合ってほしい

- ☒ 引継ぐ相手がいない

例：自身の代で売却し、現金化して生活の足しにしたい

おうちをどのように活用してほしいですか

- ☒ この場所に住んでもらいたい

例：先祖代々の土地なので、大切にしてもらいたい

- ☒ 処分して資金にってもらいたい

例：自分に何かあったときの資金にしてほしい、孫の教育資金にしてほしい

- ☒ おうちをどうするかは家族などで話し合って決めてほしい

例：自分の兄弟姉妹にも話し合いに加わってほしい

- ☒ その他

例：地域で活用してほしい



ここに記入したことは、遺言のような法的効力を持つものではありません。効力を持たせたい場合には、遺言書を作成しましょう。▶私のおうちBOOK P31参照

3 おうちの“これから”を共有しましょう

2. 考え方の共有

おうちのこれからについて整理した内容を実現するためには、ご家族と話し合ったり、不動産や法律の専門家などに相談し、記録しておく、引継ぎがスムーズになります。

また、おうちをご家族に引継ぎたい場合、話し合った内容を確実に実現するためには、遺言書の形式で伝えることも方法の一つです。

おうちのこれからについての話し合い

ご家族などや専門家などと話し合った内容をメモしておきましょう。

話をした日付	年 月 日
話をした人	
話した内容	

話をした日付	年 月 日
話をした人	
話した内容	

話をした日付	年 月 日
話をした人	
話した内容	

話をした日付	年 月 日
話をした人	
話した内容	

話をした日付	年 月 日
話をした人	
話した内容	



記入欄が不足したらこのページをコピーして使いましょう